

2012. 9. 1

名ホールの響き
第2回

アムステルダム・コンセルトヘボウ

プログラム

今回は世界の有名なホールで演奏された録音を聴きながら、その響きの妙を楽しんでいただくシリーズ「名ホールの響き」の第2回としてオランダ、アムステルダムのコンセルトヘボウを取り上げます。

コンセルトヘボウとは、オランダ語で“コンサートホール”という意味で、1888年に完成し、美しい内装と素晴らしい音響とによって、世界中の音楽ファンを魅了している名ホール（座席数2037席、残響2.8秒（空席時））です。

1888年このコンセルトヘボウ専属のオーケストラとして創設されたのが、アムステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団で、1895年から50年間常任指揮者として君臨したメンゲルベルクによって世界第一級のオーケストラとしての地位を確立しました。その後、ベイヌム、ヨッフム、ハイティンク、シャイー、ヤンソンスと受け継がれ、創立100周年を迎えた1988年にはロイヤル（王立）の称号を与えられています。

今日は歴代常任指揮者の演奏を中心に、コンセルトヘボウに於けるコンセルトヘボウ管弦楽団の演奏をたっぷりお聴きいただきます。また、バイエルン放送響がこのホールで演奏した録音がありますので、合わせてお楽しみください。

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770~1827):

交響曲第9番ニ短調op.125 “合唱付” ~ 一部

ウィレム・メンゲルベルク指揮アムステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団 他
(1940.5.2 アムステルダムでのLive フォンタナ盤)

ヴォルフガング・アマテウス・モーツァルト (1756~1791):

コンサート・アリア “どうしてあなたを忘れられよう” K.505

エリー・アメリンク(ソプラノ)

ハンス・フォンク指揮アムステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団
(1976.6.19 アムステルダム・コンセルトヘボウでのLive)

ヨハネス・ブラームス (1833~1897):

悲劇的序曲op.81

リッカルド・シャイー指揮アムステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団
(2003.1.24 アムステルダム・コンセルトヘボウでのLive)

リヒャルト・シュトラウス (1864~1949):

アルプス交響曲 ~ 抜粋

マリス・ヤンソンス指揮アムステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団
(2007.9.23 アムステルダム・コンセルトヘボウでのLive)

*** 休憩 ***

ヨハネス・ブラームス (1833~1897):

交響曲第1番ハ短調op.68 ~ 第4楽章より

ラファエル・クーベリック指揮バイエルン放送交響楽団
(1970.10.21 アムステルダム・コンセルトヘボウでのLive)

ロベルト・シューマン (1810~1856):

ピアノ協奏曲イ短調op.54 ~ 第1楽章、第2楽章から、第3楽章から

マレイ・ペライア(ピアノ)

ベルナルト・ハイティンク指揮アムステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団
(2009.3.8 アムステルダム・コンセルトヘボウでのLive)

イーゴリ・ストラヴィンスキー (1882~1971):

舞踊組曲 “火の鳥” (1919年版)

ヤン・クレンツ指揮アムステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団
(1987.9.16 アムステルダム・コンセルトヘボウでのLive)